

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 26. 4. 23 第 186 回国会第 13 号

4 月 23 日（水）、第 13 回の委員会が開かれました。

- 1 ①農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 49 号）  
②農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律案（内閣提出第 50 号）  
③農業者戸別所得補償法案（大串博志君外 6 名提出、第 183 回国会衆法第 26 号）  
④農地・水等共同活動の促進に関する法律案（大串博志君外 6 名提出、衆法第 6 号）  
⑤中山間地域その他の条件不利地域における農業生産活動の継続の促進に関する法律案（大串博志君外 6 名提出、衆法第 7 号）  
⑥環境保全型農業の促進を図るための交付金の交付に関する法律案（大串博志君外 6 名提出、衆法第 8 号）
- ・安倍内閣総理大臣、林農林水産大臣、小里農林水産大臣政務官及び政府参考人並びに提出者大串博志君（民主）及び玉木雄一郎君（民主）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・齋藤健君外 2 名（自民、維新、公明）提出の①に対する修正案について、提出者齋藤健君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・大串博志君外 4 名（民主、生活）提出の③に対する修正案について、提出者大串博志君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・③、④、⑤及び⑥に対し、国会法第 57 条の 3 の規定により内閣の意見を聴取したところ、林農林水産大臣から、「反対である」旨の発言がありました。
  - ・各案及び両修正案に対し、鷲尾英一郎君（民主）、村岡敏英君（維新）、林宙紀君（結い）及び畑浩治君（生活）が討論を行いました。
  - ・③に対する修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
（賛成－民主、生活 反対－自民、維新、公明、結い）
  - ・③について採決を行った結果、賛成少数をもって否決され、本案は否決すべきものと決しました。  
（賛成－民主、生活 反対－自民、維新、公明、結い）
  - ・④について採決を行った結果、賛成少数をもって否決すべきものと決しました。  
（賛成－民主、生活 反対－自民、維新、公明、結い）
  - ・⑤について採決を行った結果、賛成少数をもって否決すべきものと決しました。  
（賛成－民主、生活 反対－自民、維新、公明、結い）
  - ・⑥について採決を行った結果、賛成少数をもって否決すべきものと決しました。  
（賛成－民主、生活 反対－自民、維新、公明、結い）
  - ・①に対する修正案について採決を行った結果、全会一致をもって可決されました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、結い、生活）
  - ・①に対する修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、維新、公明 反対－民主、結い、生活）
  - ・②について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、維新、公明 反対－民主、結い、生活）
  - ・①及び②に対し宮腰光寛君外 5 名（自民、民主、維新、公明、結い、生活）から提出された附帯決議案について、大串博志君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、結い、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

宮 腰 光 寛君（自民）

- ・米に関して、恒常的なコスト割れは存在するのか。
- ・収入保険制度をどのような観点から、総合的に検討して

いくのか。

- ・日本型直接支払制度導入の意義は何か。また、日本型直接支払制度の4つの支援策に共通する基本理念を定めた意義は何か。

### 樋口尚也君（公明）

- ・高齢者が増加している農業構造について、衆法提出者はいつまでに、どのように改善しようと考えているのか。
- ・新規就農直後の所得を安定させるため、販路の拡大や品質の向上等の支援をより一層行うべきではないか。
- ・農業の担い手の確保に向けて、農林水産大臣はどのような決意で臨むのか。

（ここから内閣総理大臣出席）

### 玉木雄一郎君（民主）

- ・TPPにおける日米交渉について双方の溝は埋まっていると考えるのか。また、TPP交渉妥結に向け、内閣総理大臣の決意はどのようなものか。
- ・衆参両院の農林水産委員会において決議した重要5品目を守ることにについて、内閣総理大臣はどのような決意で臨むのか。
- ・TPP交渉において、日豪EPAの大筋合意を超えて譲歩する可能性について内閣総理大臣はどのように考えているのか。

### 岩永裕貴君（維新）

- ・内閣総理大臣は、内閣提出法律案により今後日本の農業がどのようになると考えているのか。
- ・海外に技術・資金の支援を行う場合は、有事における我が国の食料確保への支援の約束をとりつける必要があると考えるが、内閣総理大臣の見解はどのようなものか。
- ・内閣総理大臣は今朝、何を召し上がったのか。

### 鈴木義弘君（維新）

- ・TPP協定の締結により我が国の食料の安全保障にとってどのようなメリットがあると内閣総理大臣は考えるのか。
- ・5年後に生産調整を廃止すべきと考えるが、内閣総理大臣の見解はどのようなものか。
- ・農林水産業への新規参入を促すために所得補償を行うべきと考えるが、内閣総理大臣の見解はどのようなものか。

### 林宙紀君（結い）

- ・内閣提出法律案により農政改革を強く推進する理由は何か。内閣総理大臣の見解はどのようなものか。
- ・消費者視点の農政改革について内閣総理大臣はどのように考えているのか。
- ・農業政策の転換について、内閣総理大臣はどのように国民に説明し理解してもらうのか。

### 畑浩治君（生活）

- ・衆参の農林水産委員会における決議の中の「除外」は、関税撤廃からの除外を意味し、関税引下げや輸入枠の設定をしても決議に抵触しないと内閣総理大臣は考えているのか。
- ・TPP交渉において、日豪EPAの大筋合意を上回らない形で決着すべきと考えるが、内閣総理大臣はどのような決意で臨むのか。
- ・今後の生産調整の在り方について内閣総理大臣はどのように考えているのか。

（ここまで内閣総理大臣出席）

### 林宙紀君（結い）

- ・米については恒常的なコスト割れは存在しないという認識なのか。
- ・農林水産省が作成したパンフレットに「行政・生産者団体・現場が一体となって取り組みます。」と記載されていることから、米の生産調整を見直しても行政は引き続き関与し続けるのか。
- ・多面的機能支払で交付される交付金の使途についてのチェック機能はあるのか。

### 畑浩治君（生活）

- ・農業者戸別所得補償法案では、構造改革の進展に伴い収入とコストの差額が縮減されるため長期的な財政メリットがあると考えているが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・日本型直接支払について「直接支払」と呼ぶ理由は何か。
- ・豚流行性下痢（PED）の防疫対策の強化とワクチンの確保の見通しについて農林水産大臣はどのように考えるか。